

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスセンターおひさま2(放デイ)		
○保護者評価実施期間	令和6年8月1日		～ 令和6年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 10人	(回答者数)	5人
○従業者評価実施期間	令和6年8月1日		～ 令和6年8月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 4人	(回答者数)	4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月14日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの発達状況に応じたきめ細かい個別支援及び集団での支援	<ul style="list-style-type: none"> ・障害(知的・情緒など)別、発達状況に応じた個別支援ができています。 ・集団活動では、異年齢の子どもとの運動遊びや製作遊び、感覚遊びなどを通してルールやコミュニケーションスキルの習得に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大人(保護者など)との関わりや子ども同士の関わりの中で、子ども自身が自主性や主体的に活動ができるように支援を行っていく。
2	保護者支援及び関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談に応じ、スタッフ間で連携を図り問題解決や改善策に積極的に取り組むことができている。 ・定期的に関係機関と連携を図り、それぞれの役割を確認することができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、保護者のニーズや不安や悩みに答えたいけるように迅速に対応し、安心していただけるように努める。また、関係機関との連携も密にとっていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職による支援	<ul style="list-style-type: none"> ・作業療法士、言語聴覚士、公認心理師が集団活動に参加し直接支援を行っているが、各グループの参加の回数が少ない現状がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な人材が確保できるまでの間、各職員が研修を重ね専門性につながる支援に取り組んでいく。
2	施設の老朽化	<ul style="list-style-type: none"> ・賃貸物件により使用用途や環境構成に限界がある。 ・築年数が古い建物になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい建物を建設予定。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービスセンターおひさま2 (放デイ)

公表日 令和7年2月14日

利用児童数 令和6年11月1日 10人 回収数 5

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	2			・小学校高学年になってくると今の活動スペースだとその日の人数によっては狭い気がしますが、クラス分けの配慮はされていると思います。	利用人数、子どもの状況に合わせて、活動内容を2つに分ける等、スペースを分けて活動を行っています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	5				・その日の子どもたちの人数に合わせて、職員の配置がされていると思います。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4	1			・今は必要な状況がないので、目立ったバリアフリー設備はありませんが、必要があれば対応して頂けそうです。	室外、室内に関して設備が不十分なところがありますが、新設の際に検討していきたいと思っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5					
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4			1		懇談会を通して、保護者の方に周知していきたいと思っています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5				・毎回丁寧なデイサービス計画を作成して頂いています。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5				・毎回こどもたちに合わせた様々な活動プログラムになっていると感じます。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5				・れんげ公園でのプレーパークをとても楽しみにしている。 ・実際に見てはいないが、プレーパークという場がある。	
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5				・説明会や面談時にしっかり説明して頂いています。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5					
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	5				・送迎時に家での様子を伝えたり、活動での様子を教えてもらえたりしてとてもありがたい。 ・たくさん子どもたちがいますが、職員間でのそれぞれの子どもたちの共通理解がとてもできていると思います。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5				・面談で家庭や学校での困り感を聞いてもらい専門的なアドバイスも頂けるので助かっている。 ・定期的に面談を行い、必要に応じて育児の相談と助言をして頂いています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5					

保護者への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5				・定期的に保護者会を行い、他の保護者との繋がりを作ってもらっています。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5				・迅速に対応して頂き、説明も十分されている。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5				・普段から活動中の姿や家庭での様子を伝え合い、密な連携が図れていると思う。 ・いつでも配慮して頂いています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5				・定期的又はその都度必要に応じて、情報発信されています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5				・写真利用がある時は確認の声をかけてもらっています。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5				・対応マニュアルが掲示されているとのことですが、なかなか落ち着いて読むことは出来ないで、年度初めにプリントで配って頂けるとありがたいです。	年度初めや契約時に説明を行います。またマニュアルの配布にしましては、掲載量が多い為、検討いたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5				・定期的に必要な訓練が活動の間で行われています。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4	1			・学校では緊張しがちな子だが、おひさままでは自分らしく過ごすことができています。 ・子どもの月齢的に「行きたくない。」と反抗的に反応しますが、行ってみると楽しんでいる様子があるので、子ども自身の問題と考えております。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4	1			・活動の話し合い等で子どもの意見が通らない等がある為行き渋りはあるが、行くと活動を楽しんでいます。 ・子どもの月齢的に「行きたくない。」と反抗的に反応しますが、行ってみると楽しんでいる様子があるので、子ども自身の問題と考えております。	話し合い活動等を通して、相手に合わせたり、意見を伝える場を大事にしています。今後も子どもたちが安心して活動できるようにしていきたいと思ひます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	5				・子どもだけではなく、親にとってもなくてはならない場所です。いつも支えて下さり、ありがとうございます。 ・大満足です。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービスセンターおひさま2 (放デイ)				公表日	令和7年2月14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用人数、子どもの状況に合わせたグループ分けを行い、スペースを分けて密にならないように活動を行っています。また、更衣室が込み合うことが時折ある為、順番等工夫しています。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		配置基準を満たし、活動を行っています。定期的に専門職の先生にも来ていただいています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			活動室と分離室を分ける等、物的環境を整えていますが、段差がある等設備が不十分などところがあります。新設等の際に、設備を整えていきたいと思っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		活動終了後、掃除を行っています。定期的に玩具の消毒を行うことや加湿器や空気清浄機の設置をすることで安心して活動に参加できるようにしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個々の状況に合わせて、更衣室等必要に応じて場所を作るようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。	○		日々の振り返りや月1回の会議を通して改善しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		今後も年1回アンケートを行い、改善に努めます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		朝礼や月1回の会議で話し合う場があり、業務の改善に繋げるようにしています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		法人の第三者委員より意見をもらっています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		常に外部研修や内部研修に参加できるようにしています。専門職からの意見も取り入れながら学ぶ機会を設けています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		現在作成中ですが、今年度中に公表する予定です。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		連絡表や個別支援計画書、日々の振り返り等を通して、ニーズに基づく計画作成を行っています。外部で行われたアセスメントツール等結果も情報共有して支援の参考にしています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		子どもの支援に関わる職員と話し合い、計画作成を行っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画を全職員が確認を行い、共通認識の元支援ができるようにしています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の行動を把握することや状況に応じて感覚プロファイル等を実施しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に検討会議を行い作成しています。		

適切な支援の提供

17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		案を元に参加スタッフ全員で行っています。また、専門職の先生方にも相談し活動を考えています。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節の行事等も取り入れながら、月の計画が固定化されないようにしています。また、月齢や子どもの様子に合わせた活動を工夫しています。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		子どもの状況に合わせて、活動内容等を変えて活動を行っています。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		ケースカンファレンスを行い、共通理解の元支援できるようにしています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		活動終了後に保護者と振り返りを行い、その後スタッフ間でも振り返りを行っています。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個人記録、全体記録をとっています。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	○		4つの基本活動を組み合わせて活動を行っています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自己決定する力を育てられるよう、基本、話し合いや選択での活動を行っています。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者会議や関係機関との連携は子どもの状況を理解している職員が参加しています。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			併行通学先とは連携が図れていますが、他の関係機関とも連携を図ってきたいです。
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		年1回、小学校連絡会を行い連携を図っています。必要に応じて電話にて連携を図っています。	
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		幼保小連絡会での情報共有や移行支援シート等活用して相互理解を図っています。	
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		同法人の相談支援事業所と連携を図り、情報提供や繋ぎの支援ができるようにしています。	
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		多機関勉強会に参加することや連絡会への参加や公開療育等を通して連携を図っています。	
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		同法人がしているプレーパークに参加することで、児童クラブや地域の子どもと交流する機会を作るようにしています。	
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		同法人の職員が参加している。内容を聞くようにしています。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		活動終了後、保護者と振り返りを行い、個別に話をする時間を作っています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		年5回の懇談会を通して講師や専門職を招いた勉強会や活動後に振り返りの時間を設けています。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行い、書類もお渡ししています。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		振り返りや保護者からの相談の際に話を聞き、思いを確認するようにしています。	

関係機関や保護者との連携

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		面談の時間を設け、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		随時相談を受け入れる体制を整えています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機を設ける等の支援をしているか。		○		保護者会は設立していませんが、分離の活動や懇談会、行事を通して、保護者同士のコミュニケーションが図れるよう心掛けています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		随時相談を受け入れられる体制を整え、相談に対応をしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページ等でお知らせしています。25日までにはアップできるよう心掛けています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		取り扱いには十分に注意しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		同法人で行っているプレーパークに地域の方にも来て頂けるようにしていることやスポーツDAYなどの行事に参加出来るようにしています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		掲示等を通して周知しています。また事業所として毎月避難訓練を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		事業所としては毎月避難訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時に確認を行い、毎年連絡表に記載してもらっています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		医師の診断書を元に、除去食の提供を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		外傷記録簿や個人日誌に記載し、朝礼で伝達を行うことで再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修会に参加することや必要に応じて関係機関と連携を図っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			基本、身体拘束は行っていません。	